

環境・教育

▶リユース推進で子育てを支援

問 子育て支援を通してごみの減量化を図ってはどうか。

答 保育園や幼稚園での保護者会やPTAによるバザーをはじめ、公民館活動や市民活動などで、制服や子供服などの不用品の交換が行われている。

また、東部リユースプラザでは、1年間に子供服が1万点程度、おもちゃは1,000点程度が持ち込まれ、多くの市民に無料で活用されている。



市民に好評な東部リユースプラザ

▶地域グリーンニューディール基金で環境先進都市へ

問 地域グリーンニューディール基金の規模と本市の事業施策は。

答 この基金は、地球環境保全対策等に関する地域の取り組みを支援し、合わせて雇用の創出と持続可能な地域経済社会の構築等に寄与することを目指して創設されるものだ。

本市としては、平成21年から23年までの予算額として5億円

程度をめどに、この基金を活用して、地域の特性を踏まえた上で、地球環境保全と地域経済への貢献の2つの面で効果的な取り組みを行い、持続可能な社会の実現に積極的に取り組む環境先進都市を目指したい。

▶バイオディーゼル燃料で ごみ収集車試験走行

問 バイオディーゼル燃料使用のごみ収集車改修費と廃食用油の回収状況は。

答 バイオディーゼル燃料をごみ収集車に使用するための特段の車両改造は不要だ。現在試験走行をしているが、使用上の問題は発生していない。

一般家庭からの廃食用油は、今年度120キロリットル程度の回収が見込まれる。拠点回収等は、市有施設等を検討中で、今後回収に向けて取り組みたい。

▶通学区域弾力化の見直し

問 通学区域の弾力化について見直す考えはあるのか。

答 保護者から、学校の選択幅が広がったとの評価がある一方、地域や学校からは、地域との関係が希薄になったとの声もある。制度開始から5年がたち、教育行政審議会から見直しの意見がある。平成22年度以降の受け入れ枠は、従来の条件に加え、学校と地域のつながりという観点からも見直していく。

会派の異動

◆新生会（新会派結成）

団長 磯谷 和行
幹事 小川 信幸
会計 安井 聡

会派役員の異動

◆政隆会

幹事長 浦上 雅彦
政調会長 東原 透
副団長 藤原 哲之
幹事長代理 北川 あえ

新役員は以下のとおりです。

◆ゆうあいクラブ

代表 花岡 薫
代表代行 楠木 忠司
幹事長 三宅 員義

委員会の異動

◆総務委員会

(新) 委員 土肥 啓利

◆経済委員会

(新) 委員 鷹取 清彦

次回臨時・定例会市議会のお知らせ

8月臨時市議会

《8月17日》

9月定例会市議会

《9月16日》本会議（議案－提案説明）

《9月24～30日》本会議（個人質問）

《10月2日》常任委員会

《10月7日》本会議最終日

編集後記

真夏の太陽が照りつける中、プールからは子どもたちの歓声が聞こえてきます。

さて、6月定例会市議会では、環境先進都市を目指した取り組みや緊急雇用・経済対策など市政全般にわたる重要課題について活発な論戦を繰り広げました。

市議会だより夏号（No.56）では、その内容を中心に、読みやすい紙面づくりに努めました。

ご一読いただければ幸いです。